

事故報告様式(基本調査・国への一報)

- ✓ *のある項目は、データベース化して事故防止等に活用する可能性があるため個人が特定されないように記入すること。
- ✓ 第1報は赤枠内について把握できた範囲で速やかに報告。

事故報告日	年	月	日	報告回数	報
学校種				学校の設置者名	
学校名				児童生徒名(ふりがな)	
事故発生日	年	月	日	事故発生時間帯	時 分 頃
学年・クラス	組			性別	
事故の転帰				発生場所	
(死亡の場合)死因				(死亡の場合)死因のその他	必要に応じて記入
負傷・疾病の状況				負傷・疾病の状況のその他	必要に応じて記入
(負傷の場合)受傷部位				(負傷の場合)受傷部位のその他	必要に応じて記入
事故誘因				事故誘因その他	必要に応じて記入
事故発生の場面				事故発生の場面の詳細・その他	必要に応じて記入
診断名、病状、 既往歴	診断名			病状	【記入時に削除ください】 ※色付きの枠は全てドロップ
	既往歴			病院名	
事故の発生状況及び発生後の対応(当日登校時からの健康状態、発生後の学校のとった措置状況を含め、可能な限り詳細に記入。) ※行の挿入はロックをかけていますが、幅は調整いただけます。	【事故発生後に対応した内容を選択】※複数選択可				
					その他の内容を記載
	発生状況の詳細記入欄				
	【事故の概要(*)】				
	【事故の詳細】				
	【記入時に削除ください】 ※【事故の概要】欄の内容は、データベース化して事故防止等に活用する可能性があるため個人が特定されないように記入すること。				
	【記入時に削除ください】 ※【事故の詳細】について、第1報においては可能な範囲で記入し、第2報以降で修正。 ※時に救命処置については可能な				
発生後の対応 (保護者への説明、保護者会、マスコミ対応)					
(設置者が記入)	(「無」の理由)				
詳細調査移行の有無 ※「無」の場合は理由を記入					
○ 第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は1週間程度を目安に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加で報告。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、詳細調査に移行しない場合に、でき次第報告。 ○ 最終の報告では、該当の記載内容について、公表の可否を保護者に確認し、学校の設置者に報告。 ○ 「事故の発生状況及び発生後の対応」の記載欄は適宜広げて記載可。必要に応じ、発生時の状況図(写真等を含む。)も添付し、別様式(任意様式)での報告も可。					

【事故の再発防止に資する要因分析】 該当する部分を記載。詳細調査に移行する場合は記載不要

事故防止のための 事前の安全管理、研 修、安全教育の実施 (*)	発生した事故等に係る危機 管理マニュアルへの記載 (指導計画の作成等)の有 無		(具体的な内容)	【記入時に削除ください】 ※2ページ目の内容は、データベ ース化して事故防止等に活用する可 能性があるので 個人が特定されな いように記入 すること。
	事故予防に関する教 職員研修等の実施 の有無		(具体的な内容)	
	児童生徒等に対する 安全教育の実施の 有無		(具体的な内容)	
	改善策			
使用する施設や器具 の安全確認 (*)	使用前の安全点検		(具体的な内容)	
	改善策			
事故発生時の温度 や湿度、照明などの 環境の確認 (*)	環境面の安全確認		(具体的な内容)	
	改善策			
被害児童生徒を指 導していた教員等の 対応 (*)	指導スタッフの対応		(具体的な内容)	
	改善策			
被害児童生徒の健 康状態等の把握 (被害児童生徒以外 の児童生徒の状況 等含む) (*)	被害児童生徒等の 健康状態等の把握		(具体的な内容)	
	改善策			
事故に対する学校 側の指導体制、指導 方法、安全管理 (*)	事故に対する指導体 制等の安全管理		(具体的な内容)	
	改善策			
公表に関する保護者の同意(*)の箇所について) ※事故の再発防止の観点から、個人が特定できないデータベースとし た形で活用させていただく可能性があり、このことに係る保護者の同意 について記入ください。				